

cise onnay ta ape-huci-kamuy
チセ オンナイ タ アペフチカムイ

家の中には、火の神さまが

an wa cise soy ta
アン マ チセ ソイ タ

いて、家の外には、

kotan-kor-kamuy, wakka-us-kamuy,
コタンコロカムイ ワッカウシカムイ

村の神さま、水の神さま、

kimun-kamuy usa kamuy
キムンカムイ ウサ カムイ

山の神さま、など諸々の神さまが

oka ruwe ne.
オカ ルウェ ネ。

いらっしゃるのです。

kakkok ne yakka yaoskep ne
カッコク ネ ヤッカ ヤオシケブ ネ

カッコウヤクモヤ

yakka kunaw ne yakka
ヤッカ クナウ ネ ヤッカ

フクジュソウも

kamuy ne ruwe ne.
カムイ ネ ルウェ ネ。

神さまです。

iyotta pase kamuy anakne
イヨッタ パセ カムイ アナクネ

神さまの中で最も大切な神さまの一つは

kimun-kamuy ne.
キムンカムイ ネ。

山の神さま（熊）です。

inawcipa sam ta pewrep set an.
イノウチパ サム タ ペウレブ セッ
アン。

子熊の檻は、幣場のそばにありました。

pewrep ep anak huci patek
ペウレブ エブ アナク フチ パテク

子熊の食事は祖母だけが

kar wa kuneywa an kor ere.
カラ ワ クネイワ アン コロ エレ。

作り、朝、子熊に食べさせていました。

epihi anakne iyotta pirka p ne.
エピヒ アナクネ イヨッタ ピリカ プ ネ。

その食事は一番おいしいものでした。

ku=kor tutto iomante etok oyki kusu
クコツ トット イヨマンテ エトコイキ
クス

母は、熊送りの前に

poro su ani sayo poronno kar.
ポロ ス アニ サヨ ポロンノ カラ。

大鍋でお粥を沢山作ります。

huci ne sayo ponno namte wa
フチ ネ サヨ ポンノ ナムテ ワ

祖母は、それを少し冷ましてから

kamtaci turano poro sintoko or omare.
カムタチ トウラノ ポロ シントコ オロ オマレ。

麴と一緒に行器に入れます。

okake ta sintoko citarpe
オカケ タ シントコ チタラペ

そして行器ににゴザを

mire wa ohonno anu.
ミレ ワ オホンノ アヌ。

巻いてしばらく置きます。

okkayo utar inawneni kar kusu
オッカヨ ウタラ イナウネニ カラ クス

男の人達はイナウの材料になる木を採りに

kim ta paye wa
キム タ パイエ ワ

山に行き、

utukanni nitek tuypa.
ウトウカンニ ニテク トウイパ。

ミズキの枝を切ります。

orowa ni etupsike
オロワ ニ エトゥブシケ

そして、その枝先を

toy or ta sirewsi yakun
トイ オッタ シレウシ ヤクン

地面に刺しておく

suy sukup sekor a=ye.
スイ スクブ セコロ アイエ。

再び大きな木に成長するといひます。

rapokke ta menoko utar
ラポッケ タ メノコ ウタラ

その間、女性たちは

siamam poronno uta wa sito kar.
シアمام ポロンノ ウタ ワ シト カラ。

お米をどっさり搗いて団子を作ります。

sikerpe ne ya mame ne ya
シケレペ ネヤ マメ ネヤ

そしてシコロの実と豆を

supa wa oro sito omare wa
スパ ワ オロ シト オマレ ワ

煮て、その中に団子を入れ、

sikerpe-sito kar.
シケレペシト カラ。

シコロ団子を作ります。

orowa karus ka korkoni ka
オロワ カルシ カ コロコニ カ

また、キノコやフキや

satcep ka poro su or
サッチェプ カ ポロ ス オロ

干し魚を大鍋に

omare wa supa.
オマレ ワ スパ。

入れて煮ます。

iomante an hi ta
イオマンテ アン ヒ タ

熊送りのときには、

tuyma utar ka hanke utar ka
トウイマ ウタラ カ ハンケ ウタラ カ

遠くからも近くからも

poronno uekarpa ruwe ne.
ポロンノ ウエカラパ ルウエ ネ。

大勢の人達が集まります。

cise onnay ta an apeoy sama ta
チセ オンナイ タ アン アペオイ サマ タ

家の中の炉のそばで

utari turano k=onaha kamuynomi.
ウタリ トウラノ コナハ カムイノミ。

皆と共に父がお祈りを始めます。

cise soyke ta hekattar
チセ ソイケ タ ヘカッター

家の外では子どもたちが

ciros ani pewrep cotca
チロシ アニ ペウレブ チョッチャ

子熊に花矢を射ます。

siri ku=nukar wa
シリ クヌカラ ワ

それを見て

ku=sitoma wa ku=kira.
クシトマ ワ クキラ。

私は恐ろしくて逃げてしまいました。

ku=yupihi momani konimu wa
クユピヒ モマニ コニム ワ

兄がスモモの木に登って、

usa sito usa ninum usa topenpe
ウサ シト ウサ ニヌム ウサ トペンペ

団子やクルミや菓子などを

carpa akusu utari opitta
チャラパ アクス ウタリ オピッタ

撒くと人々はみな

uetusmak no uyna.
ウエトウシマク ノ ウイナ。

争って拾います。

aynu utar rorunpuyar kari
アイヌ ウタラ ロルンプヤラ カリ

人々は、神窓から

kamuy ahupte wa ror ta are.
カムイ アフプテ ワ ロッタ アレ。

熊神さまを中に入れ、上座に置きます。

orowa apehuci-kamuy koonkami.
オロワ アペフチカムイ コオンカミ。

そして火の神さまに祈りを捧げます。

utari poronno an aep
ウタリ ポロンノ アン アエフ

人々はみな沢山あるおいしい食べ物を

e rok e rok
エ ロク エ ロク

おいに食べて、

pirka tonoto
ピリカ トノト

おいしいお酒を、

ku rok ku rok
ク ロク ク ロク。

おいに飲みます。

menoko utar upopo oka ta
メノコ ウタラ ウポポ オカ タ

女性たちが座り歌を歌った後、

utari opitta horippa akusu
ウタリ オピッタ ホリッパ アクス

みんなで踊りをおどると、

hekattar utar ka eykoysampa.
ヘカッタラ ウタラ カ エイコイサンパ。

子どもたちもまねして踊ります。

a=e kasma kam hene sito hene
アエ カシマ カム ヘネ シト ヘネ

余った肉や団子は

a=eymekte wa
アエイメクテ ワ

配られ、

hankeno an utar hosippa,
ハンケノ アン ウタラ ホシッパ、

近い人は帰り、

tuymano an utar rewski pa.
トゥイマノ アン ウタラ レウシ パ。

遠い人は泊ります。

hekattar annoski pakno
ヘカッタラ アンノシキ パクノ

子どもたちは夜中まで

uenewsar rusuy a korka
ウエネウサラ ルスイ ア コロカ

遊んでいたかったけれど、

aysuye wa mokor ruwe ne.
アイスイエ ワ モコン ルウエ ネ。

居眠りをはじめ、ついに眠ってしまいます。

nep kamuy ne yakka
ネブ カムイ ネ ヤッカ

どのような神さまにも

aynu utar eyairayke wa
アイヌ ウタラ エヤイライケ ワ

人間たちは感謝し、

inaw ka tonoto ka imoka
イナウ カ トノト カ イモカ

イナウや酒もお土産に

kore wa onkami tura
コレ ワ オンカミ トウラ

持たせて礼拝し

kamuy hopunire yak pirka
カムイ ホプニレ ヤク ピリカ

送るものだと

sekor a=ye.
セコロ アイエ。

言われています。

出典：中本ムツ子、片山龍峯「イオマンテ IOMANTE 熊の魂送り The Bear Ceremony」

『アイヌの知恵ウバシクマ 1』片山言語文化研究所 (1999) p.63-80

※一部記載を変更している